



＜大津街道を走る聖火隊＞

編成された鼓隊を伴って入場してきます。もうこの頃になると、場内の雰囲気は相当はなやんでいることでしょう。

十時四十六分、突然火花が十発打上げられます。天皇・皇后両陛下が競技場正門をご通過になった合図です。

両陛下は「君が代」演奏のうちに、全員起立してお迎えする中を、スタンド正面のお席におつきになります。

十時五十分、スピーカーは開会をアナウンスします。と、ファンファーレが秋空高く吹奏されます。

いよいよ役員選手の入場開始です。津島大会々長（日本体育協会々長）が中央に登壇。火花が五発。ブラスバンドの演奏が始まります。

行進は被表彰団、競技役員に次いで北から北海道、青森の順で行進してきます。

総勢一万四千名の堂々たる行進……観覧席からはわかれるような拍手。

熊本県は最後に入場してきます。先頭は団旗を持った剣道の石原勝利選手（熊工高教員）続くは団長宇土県体育協会副会長、そのあとを七百十九名の我が県の

役員、監督、選手が続きます。中央グラウンドに整列を終ると、寺本知事が登壇して力強く開会を宣言。

鳴りわたるファンファーレ。その時です。会場の第三入場口から、聖火と大会旗が入場してきます。

聖火は阿蘇山上神社で採火され、行程六十一キロ、県下十四の高校生延べ三百八名の手によつてリレーされてきたもの。

## 秋空に放つ千五百羽の鳩

次は挨拶です。津島大会々長と荒木文部大臣。続いて祝辞は池田総理大臣、歓迎の言葉を岩尾県議会議長と坂口熊本市長が述べます。

十一時四十五分、天皇陛下からお言葉を賜ります。答辞は参加者を代表して、津島大会々長が述べ、またその発声で万才を奉唱します。

次は、開会式で最も力強い場面、選手

大会旗は九月二十二日東京都庁を出発、神奈川、静岡、愛知、岐阜、滋賀、京都、大阪、兵庫、岡山、広島、山口、福岡、佐賀を経て、十月十二日熊本県に引きつがれ、県内五十七市町村を一巡してきたものです。行程二千四百九十五キロ、延べ二万六千四十名によつてリレーされてきました。

聖火台に点火された聖火は、遠く東に連なる阿蘇の峯々を背景に、競技期間中焰々と燃え続けるのです。続いて「君が代」斉唱のうちに国旗掲揚、「若い力」斉唱で大会旗、「県民の歌」演奏で都道府県旗と競技団体旗が掲揚されます。旗が十分の七揚つた頃、赤黄、緑、青の四色六千個の風船が秋空高く放たれます。開会式のうちでも特にい

ろどり美しい場面でしょう。

宣言。宣誓者は本県の太田都夫選手（体操・玉名市）で団旗手と共に宣誓台に登ります。台の周囲には各都道府県の旗手がそれぞれの団旗を掲げて半円をつくり、太田選手は左手で団旗を握り、右手をサツと上げて「正々堂々と、かいます」と、力強く宣誓します。と、ファンファーレが高らかに鳴りわたる、千五百羽の鳩が秋空高く放たれます。鳩は会場上空を一周して飛び去ります。

空を一周して飛び去ります。続いて社会体育優良団体の表彰。多年地方の体育振興に尽された団体が表彰されます。最後にブラスバンドの演奏で「県民の歌」を斉唱し、閉式通告、ファンファーレの吹奏で開会式の幕を閉じるわけですが、天皇・皇后両陛下には、一旦お休み所にお入りになられますので、この時全員拍手でお送りします。和やかな雰囲気です。

### 両陛下ご覧のマスゲーム

十二時一分、役員選手の退場。ブラスバンドは郷土民謡をアレンジした行進曲を演奏します。会場は再び華やかな雰囲気ながみることでしょう。全部退場してしまふのに二十分はかかります。

十二時二十一分、両陛下はマスゲームをご覧のため、再び会場へお出ましになります。

マスゲームは熊本市婦人会員千二百六十名による「五十四万石」。両陛下ご覧のうちに、郷土色ゆたかに振付けされたマスゲームが、或はテンポを早く、或はおそく、はなやかにくりひろげられます。白と紺のゆかたに黄色の帯、黄色の陣笠ぞうりの赤い鼻緒がマッチして会場を魅了することでしょう。

このマスゲーム終了後、両陛下はご退場になります。マスゲームはその後も続けられます。小学生の「肥後わらべ歌」、高校男子の

「集団体操」がくりひろげられ、午後一時六分全部が終了するわけです。

## 23日の開会式いろいろ

☆☆☆

### マスゲームのいろいろ

- 1、小学校鼓笛バンドパレード（熊本市内小学校一、八〇〇名）四カ所の入場口から、一本の指揮棒のもとに、郷土色を織り込んだ曲を演奏しながら入場する可愛いパレード。
- 2、熊本のうた（市内中学校男女一、二〇〇名）熊本の自然の中から「不知火」と「阿蘇」をテーマとしてとらえ、前者では波の動きの中に動的な近代感を、後者では組立運動と徒手体操の混合によつて山脈と若い力を表現しています。
- 3、ダンス「旗のコーラス」（市内高校女子一、二〇〇名）若い世代の情熱を四色の旗に託し、集団の美しさや郷土のゆたかさなどを、優美なダンスの中に盛りあげます。

★以上の三つが、選手入場式の前行わ

この陸上競技場では、一時三十分からいよ／＼競技が開始されるほか、他の種

れるものです。そして開会式が行われ、最後に再びつぎの三種のマスゲームが華やかにくりひろげられて開会式が終ります。

4、五十四万石（熊本市内婦人会一、二六〇名）郷土の民謡に取材、純日本的な情緒をかもし出し、しかもマスゲームとしての効果を挙げるように間奏を加えました。更に隊型は細川侯の九曜の紋にちなんで考案してあります。

マスゲームのうち、天皇・皇后両陛下の御臨席のもとに行われるのはこの「五十四万石」です。

5、肥後わらべ歌（熊本市内小学校一、一五〇名）遊ばし「ゴムとび」「花もんめ」「あなたがたどこさ」「すもう」「まりつき」

6、集団体操（熊本市内高校男子一、二〇〇名）第一部集団体操…力強い体操に若人の力を表現する。

第二部人文字：「カンゲイ」「コクタイ」の八文字に高校生の素朴な歓びを表現する。

### 閉会式マスゲームでは……

1、自衛隊のドリル 陸上自衛隊西部方面総監部と第8混成団の合同音楽隊隊員六十名により、熊本民謡マーチや肥後テマリ唄、軍艦マーチなどの曲にあ

目の選手はそれぞれ各会場に散つて、十三頁の表のように、この日から、或は翌

わけて、さまざまな隊型を組んでゆく楽しい演技です。

2、リズムあそび「みんなでたのしく」（熊本市内幼稚園約一、五〇〇名）グランド一杯に花の隊型をつくり「こあいさつ」「木馬」「汽車ごっこ」など七つのリズム遊びをします。

3、水俣の棒踊り（水俣第一中学一、〇〇〇名）水俣に古くから伝わる素材で勇壮な棒踊りです。

4、模範体操と馬術、それぞれ日本選手権保持者により、目を見はるような演技がくりひろげられます。

### 各国体開催地でも……

## 活躍する婦人会や鼓笛隊

### ブラスバンドも引張りだこ

団体競技に一層華を添えるものはマスゲームや鼓笛隊の演奏。各競技開催の市町村では、これには大変な熱の入れようです。

ざつと見ても、婦人会、高中小学校をはじめ、消防団や会社のブラスバンドまで総出演という熱心さ。

「婦人会」のマスゲームは、大い何々音頭という、その地の踊り：例えば宇土市の宇土音頭、本渡市の天草小唄、菊池市の隈府湯ノ町音頭、八代市のおざや節とザボン娘、荒尾市の肥後の嫁入り唄、一の宮町の一の宮音頭というようにその土地の味をたつぷり出した踊りばかり。

「選手」皆さんには喜んでいただけるし観光宣伝にもなりますしね。」とはある役員係員の語。

また、各開催地で例外なく出演する小学生のブラスバンドや鼓笛隊も、編成以來短い練習期間にもかかわらず、すばらしい上達ぶりです。

前述の各市町村のほかに、水俣市、松橋町、阿蘇町、長陽村など、いずれも小学生が市中行進や、開始式、終了式に得意の演奏で景気をつけるわけです。

また水俣市と長陽村では会社のブラスバンドが、本渡市では佐伊津消防団が特別出演。

そのほか、アトラクションとしては八代市では昼食時に熊本なぎなた連盟の模範演技や舞踊会と一中生の日本舞踊が、水俣市では一中生の棒踊りなどが計画されており、会場に一段と光彩を添えることでしょう。